

西川町 議会だより

2021

No.117

7
.15



TOKYO 2020
OLYMPIC TORCH RELAY

Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。



新体制でコロナ禍に立ち向かう……………	2頁
オリンピックのコロナ対策は万全か…	4
7人の議員が町政をただす……………	6
黒字経営の継続を……………	14
辛口評価も大歓迎……………	17
知りたい！聞きたい！……………	18

6月6日、東京2020オリンピック聖火リレーのアトラクションが役場駐車場で行われました。西川小学校6年生34名による「西川小太鼓」が披露され、力溢れる勇壮な演奏で盛り上げてくれました。



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和3年 第2回 臨時会

新体制で コロナ禍に立ち向かう

第2回臨時会が4月28日に開催されました。今回は2年に一度の改選がおこなわれ、副議長に佐藤耕二議員が再任され、また議会運営委員会や各常任委員会の委員も選出し、議会の新たな構成が決まりました。

新型コロナウイルス感染症の脅威がまだ過ぎ去らぬ中ではありますが、西川町議会として、議会本来の権限行使を確かなものとし、町とともにこの困難に立ち向かっていく決意を新たにしました。

町民の皆様から より信頼される議会に



議長 古澤 俊一

西川町議会では、これまで議会活性化のため、町への政策提言や事業評価、会議の原則公開等さまざまな議会改革に取り組んでまいりました。これまでの議会改革を更に進めるために、この度、2年に一度の常任委員会委員等の改選を行い、新たな構成で議会運営にあたることで議論の活性化を図り、地域の皆様に信頼される議会を目指して努力してまいります。

町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副議長に再任



副議長 佐藤耕二

副議長 再任 佐藤 耕二
※任期は令和3年5月10日から令和5年4月30日まで

常任委員会委員等の選任

常任委員会と議会運営委員会の委員は議長の指名により選任されました。その他の委員等も含め、それぞれ次のページのとおり決定しました。

専決処分の承認

☆令和2年7月豪雨災害に係る西川町農林業施設等災害復旧事業分担金徴収条例の特例に関する条例の設定
令和2年7月に起こった豪雨災害により被害を被った農林業施設等を修繕するための分担金を徴収するため、新たに条例を設定するもの。
(全員賛成)

補正予算案

☆西川町一般会計補正予算(第1号)
①新型コロナウイルス感染症対策
5326万円
主な内容 検温器等143万円、地域振興券交付事業912万円、観光協会地域経済変動対策補助金225万円
②急を要する事務事業の経費287万円
主な内容 令和元年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金返還金15万円、令和2年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保補助金返還金1万円、志津会館防災無線設備移設業務委託料209万円
補正総額5614万円
(全員賛成)

☆西川町水道事業会計補正予算(第1号)
原水及び浄水にかかる修繕費552万円
内容 海味地内の配水管布設工事
補正総額552万円
(全員賛成)

令和3年5月10日からの委員会等の新しい構成を紹介します。任期は令和5年4月30日までです。

議会運営委員会



- ①委員長 伊藤 哲治
- ②副委員長 菅野邦比克
- ③委員 大泉 奈美
- ④委員 佐藤 光康

議会を円滑に運営するため、次のような事項を担当します。

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項

総務厚生 常任委員会



- ①委員長 佐藤 光康
- ②副委員長 荒木 俊夫
- ③委員 古澤 俊一
- ④委員 伊藤 哲治
- ⑤委員 大泉 奈美

総務課、政策推進課、町民税務課、出納室、健康福祉課、町立病院及び教育委員会等に関する事務事業を所管します。

産業建設 常任委員会



- ①委員長 菅野邦比克
- ②副委員長 佐藤 仁
- ③委員 佐藤 幸吉
- ④委員 佐藤 耕二

産業振興課、商工観光課、建設水道課、農業委員会に関する事務事業を所管します。

広報公聴 常任委員会



- ①委員長 大泉 奈美
- ②副委員長 佐藤 光康
- ③委員 菅野邦比克
- ④委員 佐藤 仁

議会の活動を町民の皆さんへ紹介するとともに、ご質問やご意見などをお聞きし、お答えする仕事を担当します。

その他

西村山広域行政
事務組合議会議員
古澤 俊一 大泉 奈美
佐藤 仁
※令和5年4月30日まで

西川町林業活性化議員連盟
会長 古澤 俊一
副会長 佐藤 耕二
幹事長 菅野邦比克
幹事 佐藤 幸吉
幹事 佐藤 仁
監事 荒木 俊夫
※令和5年4月30日まで

西川町町有林運営委員会
(議会選出委員)
古澤 俊一 佐藤 幸吉
菅野邦比克 荒木 俊夫
※令和5年4月30日まで

西川町道路整備促進協議会
(議会選出委員)
古澤 俊一 佐藤 耕二
菅野邦比克 荒木 俊夫
※令和5年度末まで

令和3年第2回定例会に提出された主な議案

【人事案、条例案等】

議案番号	件名	議案の主な内容
同意第2号	農業委員会委員の任命	佐藤澄子さんの辞任に伴い、後任として荒木桂子さん(吉川)を任命する。
議第32号	町道路線の廃止及び認定	町道みどり団地2号線の海味地内の起点を変更するため、同路線をいったん廃止し、改めて認定する。
議第33号	財産(スクールバス)の購入	スクールバスを1台購入する。
議第34号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴い、規定の整備を図る。
議第38号	令和3年度林道沼の平線1号箇所災害復旧工事(R2災)請負契約の締結	令和3年度林道沼の平線1号箇所災害復旧工事(R2災)について請負契約を締結する。
議第39号	令和3年度志津会館整備工事請負契約の締結	令和3年度志津会館整備工事について請負契約を締結する。
請願第1号	「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現」を求めることに関する請願書 ⇒ 全員賛成で採択 意見書として提出	

【令和3年度各会計補正予算】

(万円単位表示にするため千円以下の端数を調整)

議案番号	会計	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
議第35号	一般会計(第2号)	テレワーク及びペーパーレス環境構築事業委託 334万円	1億297万円	55億8410万円
		農作物等災害対策事業補助金 536万円		
		管理不全空き家応急措置工事 328万円		
		新型コロナウイルス感染症予防対策事業 2704万円		
		町道濁又線地すべり災害復旧工事に係る測量・調査・解析・設計業務委託 4000万円		
		上記以外 2395万円 (安中坊跡地関連予算)		
議第36号	介護保険特別会計(第1号)	要介護認定用読取りソフトのシステム改修委託 40万円	40万円	7億5483万円
議第37号	水道事業会計(第2号)	大井沢地区導水管布設替工事 376万円	376万円	1億7597万円

注目!
5ページの
下段を参照

注目!
4ページを参照

オリンピックの コロナ対策は 万全か

令和3年 第2回 定例会



▲令和2年9月のモルドバカップの様子

令和3年第2回定例会が6月7日から14日までの8日間の会期で開催されました。町からは人事案件1件、一般議案4件、条例案1件、各会計補正予算案3件などが提出され、慎重に審議した結果、全議案を可決しました。一般質問は7人の議員が10件について行いました。また、請願は1件を採択の上、議員発議にて意見書の提出を可決しました。

今定例会における主な議案の詳細は左のページのとおりです。
ここでは、議案に関する質疑の内容の一部を紹介します。

ここに注目

新型コロナウイルス 感染症予防対策事業費

問 選手、スタッフに発熱、体調不良など、PCR検査で陽性になった場合の対応、また練習などに関わる職員、移動のための運転手の人数とコロナ対策はどのようにしますか。

答 県のホストタウン受け入れの担当課と、村山保健所と連携するというガイドラインに沿って、広域的な受け入れ体制で対策を行います。担当職員については6名、ワゴン車を2台レンタルし地元タクシー会社の運転手を考えています。この費用については、全額県からの補助金です。

安中坊跡地関連整備

問 町にゆかりのある、大江家の住まいであった安中坊跡地の整備、のぼり旗、印刷製本、阿弥陀屋敷の整備を含めたものですが、阿弥陀屋敷の全体的な整備はどのようにすすめますか。

答 阿弥陀屋敷の整備については破損している箇所の修繕をします。今後全体的な整備については、調査し関係者と話し合いをしながら進めていきます。



▶阿弥陀屋敷の五輪塔

ここに注目

管理不全空き家 応急処置工事

町は、西川町空き家等の適正管理に関する条例に基づいて、6月4日に、西川町空き家等審議会を開催しました。3か所の現地確認をしながら、応急処置は適正と判断し、吉川、海味地区の2つの旧法人等が所有する三つの建物について、応急処置工事を行う事としました。
費用については全額旧法人等に請求します。

国に意見書提出

「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現」を求めることに関する請願を全員賛成で採択し、意見書として提出することを決定しました。

意見書の要旨

子ども一人ひとりを大切にする教育の推進と、新しい生活様式に対応すべく、義務教育の全学年で30人以下の少人数学級編制を実現するように強く求めます。

そここが聞きたい

7人の議員が 町政をたず

質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員 P7
 - 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 佐藤 仁 議員 P8
 - 1 土地相続登記の現状と今後の維持管理について
 - 2 デジタル化への対応と SNS (ライン) 発信について
- 佐藤 耕二 議員 P9
 - 1 人口 5000 人を割った現状と今後の課題について
- 菅野 邦比克 議員 P10
 - 1 啓翁桜販売目標 1 億円達成の見通しは
 - 2 ケーシーフレーム株式会社の自己破産の動向は
- 佐藤 光康 議員 P11
 - 1 コロナ禍のなかで、町民の暮らしや生活をどう守るか
- 大泉 奈美 議員 P12
 - 1 今後のまちづくりについて
 - 2 国道 112 号線沿いの景観について
- 伊藤 哲治 議員 P13
 - 1 活力ある町づくりを如何に進めるのか



▲議員席から町幹部席を望む

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずのが一般質問です。西川町議会では、1人あたりの持ち時間を町の答弁も含めて1時間以内としています。この限られた時間内に十分な討論を行うため、議員は開会の約15日前までに質問の概要を町に通告します。また、この通告の順番により発言の順番も決まります。今回の第2回定例会では7人の議員が登壇しました。議会だよりでは、質問と答弁の内容を要約してお伝えしています。

新型コロナウイルス感染症対策について

町長 接種予定や状況を広く広報していく

変異株に置き換わり猛威を振るう新型コロナウイルスは、ワクチン接種も進んでいますが、今後も長期的な対策が必要であるため質問します。

ワクチン接種

問 ワクチン接種の状況と、町民への広報はどのようにしていきますか。

答 医療関係者については、6月4日に終了しました。65歳以上の方は7月中、64歳以下の方は10月末までに終了する予定です。今後は、接種予定や状況を広く広報していきます。

感染症対策

問 ワクチン接種が進んでいますが、感染症防止対策はどのようになりそうですか。

答 ワクチン接種が進んでも、感染予防対策としての新しい生活様式を続けて下さい。

町立病院

問 県から町立病院にコロナ専用病床の確保要請がありました。専用病床を設置する予定はありますか。

答 町立病院では、コロナ専用病床の設置基準を満たさない中で、コロナ専用病床は設置いたしません。

避難所

問 避難所での感染予防対策や収容定員の見直しが必要ですか。

答 感染防止対策や定員見直しに努めます。

経済対策

問 新型コロナウイルス感染症に関する事業廃止はありますか。今後も継続した実効性のある対策を続ける必要がありますか。

誹謗中傷・風評被害

問 誹謗中傷や風評被害については相談や苦情等がありますか。

答 児童生徒を含め町民の皆さんのご協力により被害や相談、苦情等は確認しておりません。

ホストタウン

問 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの対応はどうなっていますか。

答 大会前の事前練習については、7月15日から30日まで、モルドバ共和国に加えてチリ共和国と全日本チーム12人が月山湖において行います。町内で

感染症防止対策は

問 どうなっていますか。

答 選手・コーチ等は、出国前と日本入国時にPCR検査を行います。町に滞在中も毎日PCR検査を行います。また、町内の関係者も毎日PCR検査を行います。選手等の移動は全て専用車両になります。



▲新型コロナウイルス予防接種会場 (町立病院)



荒木 俊夫 議員



佐藤 仁 議員

土地相続時の現状と今後の維持管理は

町長 地域と町が連携し維持管理を検討していく

土地相続に関する法律の改正が4月におこなわれましたが、それを踏まえ課題と問題点についてお聞きします。



相続人	相続財産	相続税	相続登記
配偶者	自宅	軽減	義務
直系尊属	自宅	軽減	義務
兄弟姉妹	自宅	軽減	義務
その他	自宅	軽減	義務

相続人	相続財産	相続税	相続登記
配偶者	自宅	軽減	義務
直系尊属	自宅	軽減	義務
兄弟姉妹	自宅	軽減	義務
その他	自宅	軽減	義務

相続人代表者指定届兼固定資産現所有者届

問 世帯主の変更及び相続登記をしてもらう手立て及び周知はどうなっていますか。

答 世帯主の死亡届時指定届兼固定資産現所有者届を町民税務課に提出してもらい、その時点で登記を掛けて頂けるよう周知しています。

問 納税はされているが宅地等の維持管理が出来ない方には、草刈り等実費でシルバ一人材センターさんなどをお願いしてはどうですか。

答 町が個人及び地域にどうかかわっていくかを含め検討していきます。

問 法律が改正され登記を掛けないと10万円の過料が課せられる。今後、相続登記及び宅地の草刈り等にかかる費用補助の財源として、来年度から新たな都市公園に対する交付金の一部を基金として積み立て活用してはどうですか。

答 今後の国の施策を見ながら検討していきます。

国のデジタル庁の創設を控え、町の対応とSNSによる情報発信についてお聞きします。

デジタル化の推進

問 今年度の各課システム維持管理費は1億円近くあり、コスト及び効率性を考えた場合、司令塔が必要ではありませんか。

答 最高情報統括責任者に副町長を、統括情報セキュリティ責任者に政策推進課長を充て進めていきます。

のでしょうか。

答 総務省が出しているガイドラインにそって提供していきたいので問題ないと考えています。

問 ライン社は海外にあるデータを日本に戻すのに数年かかると言われており、関連会社に決済業務・銀行・証券会社・飲食宿泊業等を持つ民間企業です。個人が自己責任で使用することに問題はないと思いますが、行政が一つの企業を推奨する事も問題と思いたすがどう考えますか。

答 問題はないと思います。デジタル化は日進月歩。デジタル化に精通した人材の育成を図りながら進めていきます。

ラインへの懸念

問 町ではラインによる情報発信を行なっていますが、情報の海外流出が問題視されているなか、行政が使用する事に問題はない

人口5000人を割った現状と今後の課題

町長 転出ししない施策が功を奏していなかった

西川町の人口は5月1日現在で4989人になり、第6次西川町総合計画で掲げていた最低限確保したい5000人を割りました。現状把握と今後の課題について質問します。



▲大井沢に定住した松井侑さん

自然減と社会減

問 自然減と社会減が考えられますが、町の把握状況をお聞きします。

答 5月1日現在で、1年間の自然減は出生が17人、死亡が121人で104人の減少です。社会減は転入が県外から7世帯18人、県内から8世帯57人です。

転出は県外4世帯40人、県内13世帯88人で53人の減少になっています。

問 第6次西川町総合計画が策定されてから過去7年間で1008人の人口が減っており世帯数も111世帯減少しています。町長はこの現実をどう捉えていますか。

答 山間集落地の減少率と高齢化が大きくなっています。一方学生の就職と仕事先が遠いため転出する方が多いと思います。転出ししない施策をとっています。功を奏していません。

転出ししない施策をとっています。功を奏していません。

合計特殊出生率と高齢化率

問 町の(※)合計特殊出生率と高齢化率を教えてください。またその結果をどのように分析していますか。

答 合計特殊出生率は令和元年度で0.99パーセント、2年度の高齢化率は44.9パーセントです。5年ごとの国勢調査をもとに、町独自で人口推計し総合計画や財政計画などに反映しています。また過疎計画を今年度中に策定し、人口動態に生かしていきます。

※合計特殊出生率は15〜49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。

移住・定住

問 Uターン者の数は把握していますか。また情報発信方法や空き家の利用をどのように考えていますか。

答 人数は明確にはわかりませんが、移住対策については移住希望者へのPRイベントがオンライン開催となり、対面しないので効果的な説明を行いたいと考えています。また空き家バンクを積極的に活用できるよう、考慮して利便性に努めます。

問 今年度の地域おこし協力隊は、農業関係の1人だけの募集にしていますが、もっと積極的に活用してはどうですか。

答 今までに1人の定住があり、今回任期を終える方も定住する予定です。2年間の生活支援等の事業をしています。なかなか定住に結びつかない現状です。農業関係の協力隊は7月以降着任する予定です。



佐藤 耕二 議員



菅野 邦比克 議員

啓翁桜販売 1億円の見通しは

町長 雪害の影響は少なからずある

雪害による被害状況をみると枝折れや枯れの状態がみられる。今後の対策について質問します。



問 雪害による枝折れや枯れの被害状況はどうなっていますか。

答 今冬の大雪による枝折れは一部にあるものの影響は少ない。枯れの状態ではなく、対策をとれば再生します。

問 販売数量と販売金額はいくらですか。

答 今期の販売数量は36万400本。前期比126パーセント、販売額は5030万円で127パーセントになりました。県内一位となり日本一の生産地になりました。

問 海外にも輸出の展開をしていますか。実態はどうなっていますか。

答 香港、マカオなど9ヶ国に輸出しています。販売数量は約2万本、販売金額で570万円位です。



▲4月の啓翁桜植栽地

問 雪害による被害の支援はどうなっていますか。

答 雪害対策委員会からの要請はあります。

問 植栽地を増やす計画はありますか。

答 現計画の34・1haで完了します。

問 販売目標は変えませんか。

答 自然災害などもあると思うが、支援しながら1億円を変えずにやっていきます。

ケーシーフレーム株式会社の自己破産の動向は

町長 自己破産した確認はとれていない

令和2年9月に自己破産申請をする予定と答弁がありました。その後の動向と旧西部中体育館の対応について質問をします。

問 相手弁護士からの自己破産の連絡はその後ありましたか。

答 去年の9月に自己破産する予定の連絡があったが、その後何の連絡もなく、また取れない状況です。

問 問題解決のため、検討委員会など立ち上げてはどうですか。

答 行政として一つの法人のために税金を使って手続きをすることは出来ない。法人自ら行なってもらいたい。

問 固定資産税の未納対策はどうなっていますか。

答 催告書の発送を適切に行なっており、また差押えもしております。税金の時効5年の中断はしています。

問 体育館は町が関わった案件で、他の空き家とは違うものと考えています。屋根の傷みも激しく将来税金の投入もあり得るのではないですか。

答 本来所有者が行うもので、傷みがあるのは承知しています。また破産手続きで物件が残った場合、元の所有者に戻るので適切に管理するよう要請していきます。

新型コロナ感染を防ぎ、町民の暮らしを守る対策を

町長 ワクチン接種を確実に終了させ対策も行う

新型コロナウイルス感染症は、変異株の急速な拡大などで収束が見えず、経済状況もさらに悪化しています。町民の感染を防ぎ、暮らしや生活を守るために質問します。



佐藤 光康 議員

ワクチン接種

問 本町のワクチン接種は安全で確実に進められていますか、コロナを封じ込めるためには迅速な接種が重要です。工夫して一段と速く進めることはできませんか。

答 本町では7月末までに高齢者のワクチン接種を的確に終わすという計画でやっています。64歳以下に関しては情報を収集して検討したいと考えています。

新型コロナ感染の検査

問 ワクチン接種が進んでいますが、感染を抑止する社会的な効果が得られるまでには一定の時間がかかります。高齢者施設や医療機関をコロナ感染から守るために定期的な検査をすべきではありませんか。

答 感染症対策としてうってまわることが先決問題かと考えますが、子どもたちにも感染がひろがる状況がありますので検討します。

ホストタウンの感染症対策

問 オリンピックのモルドバ共和国の選手などの事前合宿などが予定されていますが、感染症対策として選手に直接関わる町内の関係者のワクチン優先接種も必要ではありませんか。

答 それらも含め検討します。

困窮者への生活支援

問 コロナ禍のもとで休業や失業に追い込まれ、厳しい生活を強いられている方がいますが、本町の生活保護受給率は他の市町村に比べて極端に低くなっています。生活保護の申請は国民の権利であることを徹底すべきではありませんか。

答 偏見はないと思っておりますが、福祉事務所のケースワーカーといっしょに状況を把握しながら進めていきます。



▲厚生労働省のホームページ

子供の精神的ケア

問 コロナ禍による不安透明感や社会不安によって子どもたちの自殺やいじめが増えていますが、子どもたちの精神的ケアは十分になされていますか。

答 中学校では、臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーを配置し、週1回のペースで心のケアを行なっています。



▲月山湖カヌー競技会場



大泉 奈美 議員

今後のまちづくりについて

町長 基本計画に基づき政策を行う



定住人口5000人を目標に町づくりを推し進めてきましたが、5月の町広報誌に人口が4989人と掲載されていました。人口減少に歯止めがかからない現状ですが、互いに協力し健やかに暮らせるために質問をします。

人口拡大

問 5000人を割ってしまった事に対して不安感を持っており、移住人口拡大に向けた対策はどのようなものがありますか。

答 移住定住のPRについては県と連携して行い、空き家バンク登録件数を増やす取り組みをしていきます。7月に農業関係で着任するかたなど、地域おこし協力隊の定住に期待してまいります。

入居要件

問 みどり団地に建設するアパートの入居要件はどのようなものがありますか。

答 若者を呼び込むためにも、町内事業者の従業員に限り（※）シェアハウスとして入居できます。
※シェアハウスとは一つの住居を複数人で共有して暮らす賃貸物件のこと。

持続できるコミュニティ

問 地域支援員と地区との話し合いの方向性はどのようなものになっていますか。

答 7月中に話し合いを実施していきたい。地域活動、共同作業の実態、町のサポート体制など、具体的な取りまとめ作業を職員と行なっています。

問 町が支援し、季節ごとに小規模な花火を各地区で打ち上げは可能ですか。

答 地域の賑わいを取り戻す為にも、祭りの一環として大きな要素として考えられます。



▲吉川地区の花火

医療機関での検診

問 健康診断について、その他の医療機関の検診の項目に、眼科検診を加えては可能ですか。

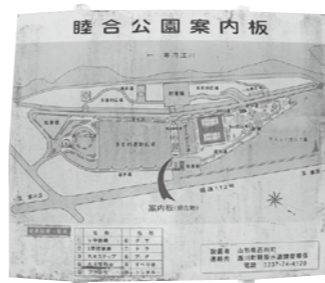
答 町立病院には眼科の診療科目はありませんが、今後近隣市町村の状況を把握し研究してまいります。

国道112号線の景観について

町長 地区と相談しながら検討を進める

問 海味地区の工場跡敷地内の一部分の解体工事はいつ頃からですか。

答 近隣住民の安全を確保するためにも応急工事を早急に行います。



▲睦合公園の案内看板

問 睦合公園の利活用計画はどのようなものになりますか。

答 地区と相談しながら今年度中に検討をしていく予定です。

活力ある町づくりを如何に進めるのか

町長 第6次総合計画の基本目標に沿い、充実した生活が出来る環境を創る

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せないなか、人口5000人を割った現状で、活力あるまちづくりをどう進めるのか伺いたいと思います。



伊藤 哲治 議員

問 第6次西川町総合計画後期基本計画の中で、「定住人口の確保」を町の最重要目標にかけ、令和5年に最低限確保したい人口を5000人と謳っていますが、少子化に歯止めがかからない現状を直視し、5年後10年後の人口推計に基づき目標値を見直す考えはないか伺います。

答 令和5年に人口5000人、16000戸世帯、交流人口100万人を目標に掲げてきましたが、令和3年5月1日現在4989人と5000人を割り込みました。人口問題を改めて調査分析し、7次総の計画を令和4年から検討するなかで目指すべき町の姿を町民から理解されるように今後改めて在り方を検討していきます。

問 やまぎん情報開発研究所がまとめた「山形県の民力」調査（2019年）により、県内35市町村の経済的なエネルギーを相対的に示す民力指数、民力水準は、いずれも西川町の減少率が最も大きく、それぞれ19.5パーセント、5.8パーセントでした。町は落ち込んだ民力を上げるためにどんな施策を実施していきますか。

答 民力指数などが減少したのは大きな建築工事等がなかったことも影響しています。総生産額は144億5千万円から156億5千万円に、農林生産額も3億7千万円から4億5千万円にとそれぞれ伸びていますが、人口減少による消費活動の活力は落ちていきます。

今後は、商工業者に対してよりきめ細かな対応を行なっていきます。また、企業誘致を進



▲みどり団地第2期造成工事予定地

問 活力ある町づくりを目指すには、子どもや若者の笑顔がふれる町づくりが肝要かと考えますが、少子化を改善し若者呼び込む施策について今後どう行なっていくのか改めて伺います。

答 若い方々にこの町に住んでいただくためには、生活できる収入を得られる環境が重要と考え、産業振興に力を入れていきます。またみどり団地第2期造成工事を確実に進め、さらに単身者用1LDK・2LDK・3LDK住宅や長期賃貸住宅等多様な住環境ニーズに対応する施策を進めていきます。

加えて、婚姻数の減少を解消するために、お見合いマッチングシステムを活用し、結婚支援事業を6月よりスタートさせ、婚活イベントの実施も行います。

黒字経営の継続を

表1 経営成績の概況

売上高	6985万9447円
(前期比)	1137万5377円増
売上総利益	2884万880円
(前期比)	100万5353円増
営業利益	54万1224円
(前期比)	19万4416円減
経常利益	726万4566円
(前期比)	44万4776円増
当期純利益	545万5666円
(前期比)	31万8676円増

表2 財政状態の概況

資本金	2000万円
(町の持株50%)	
総資産	2943万5309円
(前期比)	633万4018円増
負債	909万971円
(前期比)	87万8352円増
純資産合計	2034万4338円
(前期比)	454万4334円増
利益剰余金	34万4338円

報告の概要
品種別販売状況は「はえぬき」は、契約販売とも前年を大きく下回っており、コロナ禍により今後も業務用としての需要回復は不透明な状況です。「つや姫」については家庭用として根強い人気を誇っているが価格競争の激化が予想されます。「雪若丸」については、

西日本での取り扱い増により前年並みとなっています。取扱いは、精米数量で602t(前年対比123%)売上金額で6986万円(前年対比119%)となり取扱数量、売上金額とも、前年度実績を上回りました。要因として大きかったのは、JAと連携しふるさと納税返礼品

としての精米を西村山全市町から委託を受けたことです。発芽胚芽米関係商品については、取扱数量、売上金額とも前年を下回りました。この結果、経常利益は726万5000円の黒字となり、税引き後の繰越利益剰余金については34万4338円の黒字繰越しとなりました。

累積赤字を解消

株式会社米月山 第15期事業報告

会社としての総括
平成28年度からの5年間で累積赤字を解消する目標を立てて事業展開を行ってきた結果、令和2年度において、経常利益も黒字決算となり、税引き後の繰越し利益剰余金においても黒字繰越しとなり、目標を達成することができました。今後引き続き県内外に向けての営業拡大を図ってまいります。



▲西川町のふるさと納税返礼品、西川町産「はえぬき」

議会からひとこと
昨年までは利益剰余金がマイナスでしたが、プラスになった事に対し敬意を表します。ただ、ふるさと納税関連が50パーセント以上占めている件が課題かと思われれます。社員のみなさんの労をねぎらうとともに、更なる奮闘を期待いたします。

第3セクター 経営状況報告

6月7日の議会全員協議会と14日の定例会本会議において、第3セクター2社の経営状況報告を受けました。その内容を紹介します。

徹底したコスト削減を行った

西川町総合開発株式会社 第30期事業報告

報告の概要

コロナ感染禍の中で徹底したコスト削減を行うと共に各事業の効率化を図りました。また商品開発やホームページをリニューアルしネット取引を強化しました。地ビールや月山自然水の売上が前年対比で増加しており利益に寄

与しています。ただコロナ感染拡大により人の外出が制限された影響でレストラン、銘水館や水沢温泉での売上高、利益が大幅に減少しました。また、破綻した(株)大沼の取引先はほぼ継続取引となったこともあり当期利益を確保することができました。

総資産は前期比増
表2のとおり、前期と比較して総資産は245万円増加し、負債は155万円増加しました。この結果利益剰余金の赤字が155万円減少し純資産合計5795万1585円となりました。

表1 経営成績の概況

売上高	3億9446万341円
(前期比)	9937万1159円減
売上総利益	2億5895万1559円
(前期比)	4892万146円減
営業損失	1295万6489円
(前期比)	1498万114円減
経常利益	154万2530円
(前期比)	444万1173円減
当期純利益	155万7527円
(前期比)	294万6788円減

表2 財政状態の概況

資本金	1億円(町の持株64.5%)
総資産	1億986万1368円
(前期比)	245万2954円増
負債	5190万9783円
(前期比)	89万5427円増
純資産合計	5795万1585円
(前期比)	155万7527円増
利益剰余金	-4204万8415円

会社としての総括

連続4期の黒字化になりましたが、業務の見直し、効率化、コスト削減によるものが大きいと思います。コロナ感染の影響は大きく今後も続くものとみられます。今後はコロナ感染の収束に向けた態勢を整え、業務拡大に向けて新しいお客様を開拓し、新商品の開発にも力を注いでまいります。またサービスの向上を図り社員一丸となって営業拡大に取り組んでまいります。

議会からひとこと

4期連続の黒字決算でしたが、コロナ感染による厳しい経営環境が続いている中で連続の黒字は評価に値します。今後も各部門の収益性の確保を保ち新商品の開発にも目を向けて頂き、経営環境の厳しい中社員の英知で乗り切って頂きたいと思っております。



▲5年保存の「防災水」

議会の動き

議会全員協議会

- 4月19日 役職員等の中間改選について
- 6月7日 第3セクター経営状況説明ほか

議会運営委員会

- 4月22日 令和3年第2回臨時会の協議
- 5月24日 令和3年第2回定例会の協議

総務厚生常任委員会

- 6月9日 請願審査、行政評価項目検討

産業建設常任委員会

- 4月28日 政策提言にかかる再確認
- 6月9日 行政評価項目検討

広報公聴常任委員会

- 6月9日 議会だより117号編集会議
- 6月16日 入稿前編集会議
- 6月22日 第1回校正
- 6月29日 第2回校正
- 7月2日 第3回校正
- 7月8日 第4回校正、校了

その他

- 5月17日 村山町村会議長会定例総会
- 6月1日 県町村会議会議長会臨時総会



▲イメージ写真

第2回定例会において、テレワーク及びペーパーレス環境構築事業委託についての補正予算案が全員賛成で可決されました。この件については、以前から議会全員協議会において話し合われてきましたが、今後は、議会運営委員会を中心に推進が図られる予定です。

議会にタブレット導入を検討

辛口評価も大歓迎

議会だより読者モニター募集

よりわかりやすく、読みやすい議会だよりを町民のみなさんへお届けするために「読者モニター」を募集します。年齢性別は問いません。ご協力をお願いします。

▼活動内容
年4回発行の議会だよりの感想をアンケート方式でお聞きします。お寄せいただいたアンケートの一部を、議会からの回答とともに

次号へ掲載します。

▼活動期間
第118号（3年10月発行）から第121号（4年7月発行）までの1年間です。

▼応募締切日
8月20日（金）

▼応募先
西川町議会事務局
電話 74-5055
ファクシミリ番号とメールアドレスは、最後のページをご覧ください。



▲アンケートではたくさんのご意見をいただいています。

議会の傍聴にお越しく下さい

面倒な手続きは何もありません。ぜひお気軽に！
次回定例会は9月です
(9月6日からの予定)

議場で行う本会議や特別委員会はインターネットで中継しているほか、過去の映像を視聴することもできます。ぜひご覧ください。

自治功労者表彰受賞

永年にわたり地方自治の振興発展に貢献された本町議会議員3名の方々に、この度、自治功労表彰が授与されました。受賞者は次のとおりです。

村山町村会議長会表彰

伊藤 哲治さん（吉川）
【議員在職9年以上】



佐藤 幸吉さん（厩沢）
【議員在職9年以上】



佐藤 耕一さん（大井沢）
【議員在職9年以上】



各地区との集いを見送り

令和3年度 町民と議会の対話の集い



▲「密」を避けることは非常に難しい…
(写真は令和元年度の本道寺・月岡地区の会場)

西川町議会では、議会基本条例や議会運用例に基づき「町民と議会の対話の集い」を毎年7月末から8月にかけて開催しています。この事業は、町民の皆さまの生の声をお聞きする重要なものと位置付け、毎年、多くの貴重なご意見をいただいています。

しかし、コロナ感染対策をふまえ、今年度の開催の是非を協議した結果、特に、クラスターの発生するリスクの高い三密（密閉、密集、密接）の状態が避

けられないと判断し、次のような対応とすることを決定しました。

4年度へ見送り

3年度に予定していた各地区、町内会などとの対話の集いは、開催の条件設定を満たすことができないため、4年度へ見送りいたします。

ただし、議員個人として常に地域住民の皆さまの声に耳を傾け、議会活動に反映させるよう心がけていきます。

所管事務調査で対応

各種団体等との対話の集いは、各分野の当事者の方々の意見をうかがう貴重な機会です。例年、役場会議室を会場とし、感染予防対策を実施した上での開催が可能と想定されます。このため、議員の人数が5人となる各常任委員会の所管事務調査として対応します。開催にあたっては、対象の団体にあらためてご連絡いたします。

常にご意見を受付

議会では町民の皆さまからのご意見や質問などを常に受け付けています。情報を正確に記録するために、手紙やファクシミリ、メールのみといたします。ご意見等へは必ず回答いたしますが、ある程度の時間をいただきます。

※問い合わせ先は最後のページをご参照ください。

知りたい!!聞きたい!!

～議会だより116号の アンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。

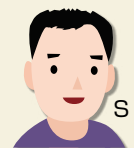


I. S.さん

【令和3年度予算概要を読んで】

2色を基本としていますが、とても見やすいと思います。単純に前年比で13.6%も予算を増やして大丈夫なのか心配です。災害復旧とコロナ対策で予算が必要なのは理解できますが、今後そのしわ寄せが来そうで怖いです。町の財政調整基金などの残高グラフがわかりやすいです。このペースで減らすわけにはいかないにせよ、ずいぶん減った印象です。特別会計予算の表に上下の矢印を入れて見てわかりやすくしているのがとても良いです。

ありがとうございます。早期に新型コロナウイルスを封じ込めるべく議会としても頑張っていきたいと思います。



S. S.さん

【予算特別委員会【審議・採決】を読んで】

婚活推進事業により、婚活が活性化すれば良い事ですが、結婚後に町内に定住してもらわないとあまり意味がなくなってしまうと思います。婚活時に、定住に関してもアピールできれば良いのではと感じます。

婚活推進とともに、大事になってくるのが、定住化促進です。婚活推進は政策推進課、定住化促進は建設水道課と町では二つの課に分かれています。実際の働きに関しては、それぞれバラバラのものとならないよう、議会で注視していく必要があります。ぜひ、連携の取れた施策を展開してほしいものです。



W.K.さん

【一般質問を読んで】

近隣市町でコロナのクラスターが発生しておりますが、西川町は過度には進んでおりません。この状況を保ちつつワクチン接種を早目をお願いします。

議会としても、なるべく速かつ安全に町民の皆さまがワクチン接種できるようにチェックしていきたいと思います。



ご感想をお寄せください

西川町議会では10名の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい!聞きたい!」という場合は、お気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ：74-2601 住所：海味510番地
メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

編集後記

オリンピック開催に向け、6月6日に聖火リレーが行われました。小学生の西川小太鼓やサポーターランナー協力、中学生の運営ボランティア活動など、各関係者のご尽力に敬意を表したいと思います。

さて、議会としましても、町の様々な課題解決のため、政策提言にむけて新構成メンバーで各常任委員会を開催しました。

今後もしっかりやすい紙面づくりに努めてまいります。
コロナ対策に加え熱中症にも気を付けて元気に夏を乗り切りましょう。

(大泉 奈美)

《発行・編集責任者》

議長 古澤 俊一

《編集委員》

委員長	大泉 奈美
副委員長	佐藤 光康
委員	菅野邦比克
委員	佐藤 仁